

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：横浜市馬場保育園	種別：認可保育所		
代表者氏名：稲垣 久美子	定員（利用人数）：68（66）名		
所在地：〒230-0076 横浜市鶴見区馬場2-7-27			
TEL：045-573-0054	ホームページ：無し		
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：1972年 5月 1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市			
職員数	常勤職員：18名	非常勤職員	18名
専門職員	(保育士) 園長 1名	調理員	5名
	(保育士) 主任 1名		
	保育士 19名		
施設・設備 の概要	1、2歳児室 1室	沐浴室	1室
	3、4、5歳児室 3室	調理室	1室
	事務室 1室	トイレ	4室
	職員休憩室 1室		
	鉄骨造り平屋建て	建物延べ床面積	1014.7㎡
	園庭	676.09㎡	

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

子どもの最善の利益を考慮し、一人ひとりを大切にする  
 地域の子育て家庭を積極的に支援する

## 【保育方針】

保護者や地域とともに、子どもの健全な心身の発達を図る

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

## 【立地および施設の概要】

JR鶴見駅と東急東横線菊名駅間を結ぶ、臨港バス鶴01系統の「馬場谷」バス停下車徒歩1分、神奈川区、港北区、鶴見区との区境の住宅街に立地しています。

馬場谷の名のとおり周囲を丘に囲まれた地形で、近隣には馬場の赤門、馬場花木園、入江川せせらぎ緑道等、寺尾城ゆかりの遺跡や公園が多く、子どもたちは散歩に出かけ、四季の自然に触れて遊んでいます。1歳から5歳まで、66名が在園しています。今年創立50周年を迎え、記念のロゴを作成し、のぼりを立てたり、広報紙に掲載して地域への感謝の気持ちをアピールしています。

### 【園の特徴】

「自分らしく輝こう、みんなでともに育ち合おう ～いっぱい笑って いっぱい遊ぼう～」を園目標に掲げています。職員は子どもたち一人ひとりを受け止め、子どもの心に寄り添った保育を展開し、子どもの健やかな育ちを図っています。

園は鶴見区にある公立4園の一つで、育児相談、育児講座、一時保育、出前保育、交流保育、園庭開放等を行うほか、ネットワーク事務局園として、地域の民間保育所等との「つなぎ役」となって、保育施設全体の保育の質の向上に取り組む役割を担っています。

### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	西暦 2022年4月1日（契約日） ～ 2022年12月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審今年時期）	2回（ 2017 年度）

### ⑥ 総評

#### ◇特長や今後期待される点

#### 1. 子どもたちの思いや話し合いを大切にする保育

日常の保育の中で、年齢に応じて子どもたちが話し合う機会をつくり、人との関わりを意識できるようにしています。

3歳児は、アゲハ蝶を幼虫から飼育し、孵化して羽が徐々に広がる様子を見ていました。籠の中のアゲハをどうするか、「逃がした方がいいと思う人」「逃がしたくない人」それぞれの理由を聞きます。「このままでは死んでしまう」「きれいだから（逃がしたくない）」「明日逃がしたい」と意見が割れますが、「明日は雨だからどうしたいかアゲハに聞いてみよう」ということで蓋を開け見守っていると、しばらくしてゆっくり飛び立ち、皆が納得して見送ることができました。決して大人が先回りせず、それぞれの思いを尊重して話し合いをすることを大切にしています。

#### 2. 配慮の必要な子どもや多様な保護者へのきめ細やかな支援

職員の多くが東部療育センターの通所施設「パレット」を見学して、支援の方法を学んでいます。保育室の棚にカーテンをして視覚に入る情報を制限し、座る位置が分かりやすいようにマットを利用したり、椅子の足元に工夫をして、落ち着いて過ごせるようにしています。マークや写真を用いて、物の置き場所をわかりやすくするなど、様々な工夫をしています。また、日本語を母語としない保護者への書類は多言語に対応し、分かり易く伝える工夫をしています。

家庭と園の連携を密にし、関わり方や対応について伝えあい、保護者と子どもが安心して過ごせるよう配慮をし、就学後も必要があれば相談にのっています。

#### 3. 地域とのネットワークづくり

寺尾第二連合自治会と連携し、小学校教員の夏休みを利用した保育参加等近隣の幼稚園や小・中・高校と関係を深め、また、園長が白幡公園こどもログハウスの運営委員を務めるなど、地域とのネットワークを大切にしています。東寺尾地域ケアプラザと連携した交流保育に職員を派遣し、地域の育児支援を行っています。

どんな園にしたいか、理想の園を職員にアンケートで聞き、地域や皆さんへの感謝の気持ちを込めて創立50周年記念事業を行うことになり、プロジェクトを立ち上げ実行中です。園の結束が高まり、自分たちの歩みを振り返る機会ともなっています。

#### 4. 保護者の思いを集めてコミュニケーションを図る取組

保護者同士、保護者と職員とのコミュニケーションを深めるために、「おうちでの夏の思い出」「おまつり」「お薦めの散歩スポット」等身近なテーマを設定して廊下に掲示し保護者の意見を集めています。そこに保護者が付箋に書いて貼り、職員がコメントを添えて、双方向でのやりとりができています。また、行事の感想も同様に集め、タイムリーで温かみのある掲示物となり、他の保護者の意見や子育て観に触れることができます。テーマを通じて日本文化を伝える機会にもなっています。

#### 5. 職員間の情報共有の徹底

家庭的な雰囲気のもと職員の連携がよく図られていますが、細かな課題に対する検討と対応伝達が口頭になりがちで、記録の徹底も課題となっています。今後は、年度を越えた伝達や、会計年度任用職員（非常勤職員）とも共有できるよう取組をさらに進めることが期待されます。

### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

前回の第三者評価は平成29年度に受審しています。今回は、新しい評価基準での受審となるので、改めて保育園に求められること、職員がやらなければいけないことを再確認しつつ、日頃の保育を見直す機会であると捉え、園内研修を兼ねて会計年度職員を含めた全職員が参加し、グループに分かれて意見を出し合って自己評価をまとめ上げました。

話し合いを通して、基本や、基礎となる根拠が共通理解となり、仕事を丁寧に行っていく意識が強化されました。また、指摘を受けた課題に対しては、改善を図るべく話し合いを進めています。今後も自己評価や、研修の参加、職員間のつながりの強化で、更に高みを目指し保育の質の向上に努めていきたいと思えます。

評価機関の皆様には、私たちの話を丁寧に聞き取り、保育士の思いを汲み取って評価して頂きました。ありがとうございました。

保護者の皆様にもお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして心より感謝いたします。これからも安心・安全な園運営とともに、皆様のお声に耳を傾けながら保護者の方と一緒に、園目標で掲げている「自分らしく輝く」、お子さんの健やかな育ちを支えていきたいと思えます。

馬場保育園 園長 稲垣久美子

### ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり